

一般質問

福島原発事故に関連して

日本共産党秩父市議団 新井康一

●福島原発事故に関連して

問 市では放射線測定器を購入したということだが、何台購入し、管理はどこが行っているのか。

答 2台購入し測定できる環境を整え、危機管理課が管理している。

問 校庭の隅や排水溝付近、雨どいの下など、雨水の集中する所、さらに通学路まで広げてホットスポットを探し出して対処することが大事だが、そういうことはできないか。

答 公立幼稚園、小・中学校では校庭の中心付近を継続的に測定・公表しているが、学校敷地内の側溝、砂場や遊具付近も測定し、学校便りなどで公表したい。

問 一般家庭でも同様に雨どいの下など放射線の高いところがあると思う。また内部被ばくの危険性についても特に幼児や妊婦については感受性が高いので注意を喚起してほしい。

答 内部被ばくの危険性など必要な情報は、情報収集をすすめ、随時広報等を通じて周知を図ってきたい。

問 市で購入した計測器を希望する市民が使えるように体制をと

のえてほしい。

答 当面は市民から要望のあった箇所について職員が出向き、可能な限り計測していきたい。

●防災対策について

問 食糧などの備蓄の状況と備蓄場所の状況はどうなっているか。

答 乾パン・アルファ米・毛布・懐中電灯・紙おむつなどを6箇所の防災倉庫と22か所の市の施設に確保しており、広報等を通じて市民の皆さんに周知していきたい。



市内にも放射線量の異常に高い所がある

市民生活の安心・安全をめざして

日本共産党秩父市議団 斎藤捷栄

●住宅リフォーム助成制度

と小規模事業者登録制度の改善に向けて

問 6月議会で提案した制度改善について実施した内容を示して欲しい。

なおリフォームについては21年度、22年度実績値562件を推算し改めて試算し直したところ、上限20万円定率10%補助が実績値より安く実施でき、加えて10%定率助成該当者が全体の86.12%となり、助成額の公平性が格段に向上することも分かった。改めて制度改善を求めたい。

答 小規模事業者登録制度については、指摘を受けて要綱を簡潔で分かり易い表現に改めた。

住宅リフォーム助成制度については、再度詳細な提案を受け、前向きに検討していく。

●市役所本庁舎建設問題について

問 6月議会では「再度の調査は考えていない」と言うことだったが、今回の震災でどれだけのダメージを受けたのかの「被災度判定」と言った検査は不可欠ではないか。改めて聞きたい。



聖地公園の合葬墓

●聖地公園の管理運営について

問 永代供養合葬墓の設置を望む声が多いが、どう考えているか。

また、行灯祭りの献灯管理はどのようにされているのか。

答 永代供養合葬墓については、今後調査研究していく。行灯祭りでの献灯未設置の苦情が数件あった。今後配置人員を増やして設置場所の確認を十分行えるよう対策を講じていく。

一般質問

豊かな長寿社会実現のために

公明党 大久保 進

問 認知症予防のために簡易聴覚チェッカーを使って難聴検査をする事が有効と思うが、難聴検査を追加する考えはあるか。

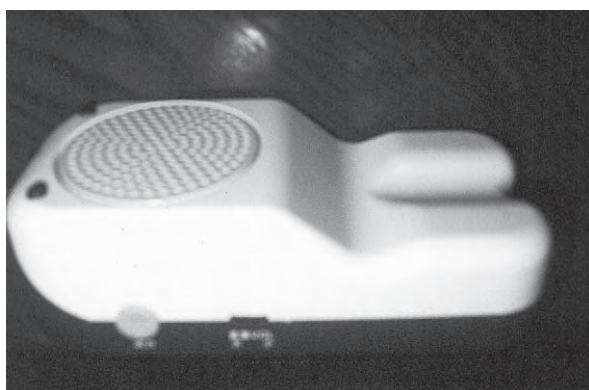
答 難聴の高齢者は周囲とのコミュニケーションも大幅に減ってしまい閉じこもりや認知症に繋がる大きな要因となってしまう。そのため、高齢者を対象とした様々な介護予防事業を地域包括支援センターや保健センターにおいて開催している。その場を活用して参加者を対象に聴力測定機を利用したチェッカーを今後検討していく。

問 家庭介護用品支給事業のカタログの掲載のものでないと支給できないか。

答 当事業は年度末に次年度の物品契約を行うための見積り合わせを行うっており、1年間は契約上の商品のみに限られるが、毎年、支給対象者の希望した商品を取りまとめるので、支給対象者から要望があれば次年度に反映することが可能である。

問 救急医療キット配布事業が補正予算で計上されているが内容は今年度新設された県の補助制

度で、1セット450円でプラスチックの容器に内容を書いたメモを入れておくものである。玄関と冷蔵庫に救急キットの所在がわかるようにマグネット式で貼りつけるものが1セットになっている。なお、対象者は、単身および高齢者夫婦で配布については、民生委員児童委員協議会にご協力をいただき事業を実施していく。



簡易聴覚チェッカー

◎ AEDの設置場所の徹底
◎ 姉妹都市災害協定について

道路改良及び有害鳥獣駆除について

彩政会 逸見英昭

● 道路改良について

問 県道吉田久長秩父線と県道皆野荒川線の交差点は事故が多発し地域住民から早期の改修が要望されているが、現況はどうなっているか。

答 道路管理者である秩父県土整備事務所聞いたところ、交差点改良と前後左右一部の拡幅を行い信号機を設置する予定であり、今年度から事業に着手したとのことである。

問 大田539号線の改良計画は、住民や学童の通行に支障をきたしている現況ということなので、要望書を提出していただきたい。

● 有害鳥獣駆除について

問 農業者や一般の人が出入りする頻度の高い場所での猟銃を使用した駆除は危険が大きい。安全な駆除の方法が考えられてよいと思うが。

答 鳥獣の種類や地域特性等を考慮し、区域周辺の安全に配慮しながら実施している。

問 効率的な駆除の実施に向けた取り組みについて。
答 今後も、農作物への被害防止・



学童の通行に支障をきたしている市道大田539号線

軽減という目的に沿って、有害鳥獣捕獲で許可された銃器あるいはワナといった道具を使い、地域の安全に配慮しながら効率的な捕獲を進めていく。

一般質問

市民満足度調査結果の分析と活用

金崎 昌之

問 満足度の平均値が第1回に比べて下がっているが、その要因は。

答 経済状況など社会的要因が大。地域・年代別分析等、今後の更なる分析や活用は。

問 年代別分析は今後実施したい。また、調査データは今後実施の施策評価にも活用を予定している。

●雇用・企業立地の促進

問 雇用促進の具体的取り組みは。

答 企業支援・誘致に特化した「企業支援センター」や、雇用・就労施策を一体に実施する「ジョブプラザちちぶ」の開設、県の緊急雇用創出基金を活用した積極的な失業者の雇用創出を図っている。

問 県が圏央道以北の国道299号・140号沿いに企業誘致を図る方針を出したことを踏まえ、秩父市での企業誘致場所の確保は。

●小中学校施設・設備の充実

問 プールや部室の無い中学校が存在するが、その対策は。

答 水難訓練等も小学校のプールや体育館を活用し、不都合が生じないよう対応している。部室は、



満杯のみどりが丘工業団地

校舎内の空きスペースを探す。
問 郡内各町で全普通教室にエアコンが設置されるが、秩父市は。

●学校メンタルヘルス対策の充実

問 臨床心理士への相談回数が平成20年48回、平成21年82回、平成22年220回と激増し、相談体制の充実が求められている。

答 財政当局とも相談し対応。

秩父市立病院小児救急について

彩政会 高野 宏

問 小児科医の確保により、市立病院で24時間救急体制と入院体制を確保してほしい。

答 現在、全国的な医師不足の中とりわけ小児科医の不足が著しく当院の小児科は、現在、常勤医師2名体制で診療を行っているが、2名とも県や大学医局の派遣人事に頼っている状況で、決して安定的とは言えないのが実情である。当院は、秩父地域で唯一、小児入院施設を有しており、小児医療に対する地域の期待が大きいのは十分認識しているが、小児科医の増員は厳しい状況であり、小児救急体制の充実は今時点では難しい。しかし、引き続き小児科医の確保に努め、医師会の先生方はじめ、県や大学病院との連携を密にし、さらなる充実に努めていく。

●中央公民館について

問 中央公民館における震災以降の状況および現状と、今後の公民館活動の見通しについて。

答 東日本大震災により、中央公民館では、講座、クラブ活動が休止となり利用者の皆さんに、ご不便をおかけしたが、会場や活動回

数を変更し、5月より活動を再開している。
今秋には、歴史文化伝承館内の事務室の移転を行い、中央公民館の再開に向けて努力していく。



秩父市立病院の小児科

◎東日本大震災について
◎町会運営について

一般質問

秩父市の児童福祉・障害者福祉についての方針

日本共産党秩父市議団 山中 進

問 国の責任放棄「地域主権改革一括法」による市の考え方は。

答 国の方針が、全国一律の最低基準を解体し、福祉施策など地域格差を生むことにつながるのではないかと。憲法に定められた国の責任を地方に転嫁させようとするものであり、地方自治の根幹を揺るがす大きな問題をはらんでいる。財源についてもあいまいさがのこり、危惧するところもあり、納得できるものではない。この地域主権改革一括法による秩父市としての児童福祉・障害者福祉について今後のような考えがあるか。

問 必要となる条例制定や権限移譲に伴う体制整備を図り、国に適切な財政措置を図るよう要望していく。

答 子育て支援について市の考えについて。

今年度から開設した各園の調査をしたのか。また、働く若い人たちの子育て支援についてこれ以上負担を求めぬのか。また、良い保育をと、懸命に取り組んでいる保育所の経営を圧迫させる負担を求めぬのか。

安心して預けられ、働けるため

の子育て支援をおこなうのか、市の見解を。

答 延長保育の要求はこれからも増加すると、認識している。今後、延長保育実施状況を調査し、財政事情を考慮し「継続的」、「平等」に支援し充実していきたい。



目を輝かせ熱心に話を聞きいる子ども達

- ◎ゴミボックスの設置に助成を
- ◎市の施設の有効利用と窓口一本化
- ◎市道について

総合振興計画の成果と今後の計画を問う

彩政会 金田 安生

問 合併直後に作成した第1次総合振興計画施工後5年が経過した合併の成果と問題点について聞きたい。

答 総体的には当初計画した内容に沿って順調に実施しているが、一部の計画は予定通りに進行していないものもある。現在主要125件を取り上げ、事業の成果を検証中である。計画立案時以降に経済情勢も大きく変化し、市を取り巻く状況も変化しているところから、思ったように計画が執行できない案件もある。実施状況の検証と経済状況を勘案し、柔軟に対応していきたい。

問 振興計画は人口減少を予測しながら、対応すべき施策が無い。市民に夢と期待を与える今後の政策について市長の考えを聞きたい。

答 人口減少は秩父市の活力を奪うと共に、将来の財政にも多大な影響を与える重大な問題であると認識している。企業育成と誘致に力を入れ、若者が秩父に定着し生活できる雇用環境の整備が、最優先課題と考え努力している。市長としては、市役所の整備、地域包括ケアの構築、



日本ジオパーク認定をテコに観光振興が期待される遺跡

山を蘇よみがえさせる施策、観光振興の4点を重点に、安全安心・地域活性化に向け、秩父地域全域の活性化を目指して行きたい。